

題名(教材名)	あいさつの力 (青いアルバム)
ねらい	挨拶には、自分と相手の心をつなぐ力があることに気付き、相手の気持ちを想像したり、自分なりの気持ちを込めて挨拶をしたりしようとする心情を育てる。
授業のポイント	<p>こんな2年生 この段階の児童は、入学前からさまざまな挨拶や言葉遣いを学び、入学後は、身近な人と接する中で楽しい体験を繰り返すことにより、状況に応じて自ら挨拶したり、相手によって言葉を選んだりすることができるようになってきたりする。挨拶のもつ力について考え、自分なりの気持ちを込めて挨拶をしようとする児童になってほしい。</p> <p>教材のポイント お寿司屋さんのえいちゃんが見せてくれた青いアルバムには、海外の友達がたくさん写っている。「わたし」は、えいちゃんは海外の言葉が話せないけれど、だれにでも「こんにちは。」と言っていることを知る。 挨拶に込められた相手の思いを考えることを通して、「こんにちは。」など、わずか数文字の言葉がもつ力について考えることができる教材である。</p> <p>授業のポイント 主人公は、お寿司屋さんのえいちゃんの外国人の友達がたくさん写っている「青いアルバム」を見せてもらう。えいちゃんの「ぼくはだれにだって、『こんにちは。』って言うよ。」という言葉から、お店はたくさんあるのに、海外の友達や家族もえいちゃんのお店に来るのはなぜかを考え、お客さんの気持ちを想像させる。日頃、何気なく使っている挨拶の言葉の奥に込められた思いや願いについて考えることを通して、挨拶がもつ力について考えを深める。</p>
挨拶に注目して、わずか数文字の言葉が持つ力について考えを深めます。ご家庭でも、「自分なりの気持ちを込めて挨拶をする」ことについて話し合っただけであればと思います。	